



2023年5月12日

各位

会社名 ハビックス株式会社  
代表者 代表取締役社長 吉村 和彦  
(コード番号: 3895 東証スタンダード)  
問合せ先 常務取締役 伊神 清隆  
電話 058-296-3911 (代)

## 『長期経営ビジョン 2030』策定に関するお知らせ

ハビックスグループは、新たに2023年度を初年度とする『長期経営ビジョン 2030』を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

### 『長期経営ビジョン 2030』: 2023年4月～2031年3月 (8年間)

#### I. 基本方針

##### 1. 事業の変革

- ・原紙原反事業とのシナジー効果を活かした新たな価値の創造
- ・多角的なアライアンスによる企業競争力強化
- ・事業拠点の見直しやDXによる事業運営の効率化

##### 2. 組織・人材の活性化

- ・組織の再編と人材の育成
- ・ビジョン実現に向けたマネジメント強化
- ・情報共有とボトムアップによる事業運営の活性化

##### 3. サステナビリティ経営の実現

- ・カーボンニュートラルや環境に配慮した戦略的製品の開発による持続可能な社会への貢献
- ・供給責任を履行するためのBCPの強化

#### II. 経営戦略

基本方針に基づいた5つの戦略と12項目のアプローチにより長期経営ビジョンの実現を図ってまいります。

【戦略1】 新事業・新分野創出

【戦略2】 競争力強化

①事業ポートフォリオ	持続的成長のため、常に新事業・新分野を創出し続けます。 長期経営ビジョン2030における第1次中期経営計画において、 新事業として衛生用品の加工事業を、新分野として医療・介護を 中心に取り組みます。
②アライアンス・M&A	技術提携や共同開発等によりアライアンス強化を図り、新事 業・新分野創出へアプローチします。

③取引先ポートフォリオ	アライアンスの拡充と新製品の開発を進めることで、既存取引先のシェアアップと新規先の開拓を図り、売上増と裾野の拡大に繋がります。
④リレーション強化・パートナーシップ強化	サプライヤーとして取引先のニーズにお応えするだけでなく、課題解決の提案を積極的に行い、パートナーとしてのより強固な関係の構築に努めます。
⑤国内外拠点の見直し	新事業への取り組みをはじめ、生産効率の一層の向上やBCPの観点から国内外拠点の見直しを進めます。
⑥工場の自動化	今後、労働力人口の大幅な減少が見込まれることを踏まえ、安定的かつ効率的な操業のため工場の自動化に取り組みます。

#### 【戦略3】 経営基盤強化

⑦デジタル化	工場自動化ならびに業務の合理化・効率化のほか、社内のみならず取引先との迅速な情報の共有化に資するデジタル化を進めます。
⑧組織体制強化	権限移譲を進めることで経営スピードを向上させるとともに、変化に柔軟かつ効率的に対応できる組織の構築と体制の強化を図ります。

#### 【戦略4】 人材マネジメント

⑨人材育成とキャリア採用強化	70 有余年の歴史で培ったもの造りのノウハウを確実に伝承するとともに、今後、多角化するもの造りに対応できる人材の育成を図ります。 また、専門的スキルを有する人材の採用にも注力します。
⑩従業員満足度（ES）向上	ハビックスグループで働くことを誇りに思い、「また明日、会社で仕事をするのが、仲間に会えることが楽しみ」になる企業風土を醸成します。

#### 【戦略5】 サステナビリティ対応

⑪脱炭素化・環境配慮商品の開発	2050 年のカーボンニュートラルに向けた社会的責任を果たすため、脱炭素化に積極的に取り組みます。 また、天然素材や天然廃棄材を活用して環境配慮商品を開発するとともに、既存事業における原材料のバイオマス化を図ります。
⑫BCPの強化	人々の暮らしに欠かすことのできない製品を取り扱う当社にとって、災害等発生時であっても事業を継続し製品を安定供給することは社会的使命であり、事業継続に係る様々な施策を着実に履行していきます。

### III. 財務目標（連結）

項目	目標
売上高	150 億円以上
営業利益率	7%以上

#### ※ご参考

『長期経営ビジョン 2030』につきましては、本日、当社ホームページにて公開いたします。

アドレス：<https://www.havix.co.jp/ir/policy.html>

(注) 本資料に記載されている内容は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。したがって、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

以 上